

Feeling excited

"Dance with Heart"
 We are burning with enthusiasm
 in creating national art for the new era.

The Kikunokai Dance Troupe
 Chairperson : Michiyo Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会

〒161-0031
 東京都新宿区西落合2-21-23
 03-5983-6001(代表)

菊の会京都八瀬研修所
 〒601-1254
 京都市左京区八瀬野瀬町10
 075-712-8701(代表)

<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart



Yamatogaku "AYAME" by Mitchiyo Hata

ご挨拶

舞踊集団 菊の会

尾上菊乃里事
 代表 畑道代

新緑の候、皆々様にはご機嫌麗しくお過ごしの事と存じます。

お陰様で菊の会もこの四月をもちまして三十九年目の爽やかな創立日を迎えました。

又、この度は思いがけなく東京新聞社より榮えある「舞踊芸術賞」を受賞する事が出来ました。

受賞にあたり、各諸先生方並びに東京新聞社の関係者各位の皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。

そして、この長い歳月に渡り御指導、御支援賜りました皆様お一人お一人に心から感謝し御礼を申し上げます。誠に有難うございました。

菊の会を創立致しまして三十八年、菊の会の作品づくりに没頭し、お弟子達の育成やそれぞれの作品の主役をこなし、舞踊団の経営の基盤づくりに無我夢中で取り組んで参りました。

自分の思つた舞踊団にはまだ遠く長い年月が掛かると思いますが、この受賞を機に更に日本の舞踊の道の確立、そして社会に少しでも何がしかの貢献が出来ます様更なる努力をして参ります。
 今後とも変わらぬ御指導御鞭撻を賜ります様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成二十二年四月吉日

日本メキシコ交流400年周記念 の会メキシコ公演を盛大に開催



大使主催の歓迎パーティーに招かれて、小野大使御夫妻と共に（大使公邸於）

前列右端 ミカド 鈴木松男会長、2列目右端 国際交流基金 大野徹所長、右から2人目 在メキシコ大使館広報文化センター 大野正義センター長、後列右端 在メキシコ大使館広報文化センター 築山淳志書記官、右から2人目 在メキシコ大使館 大野翠華公使

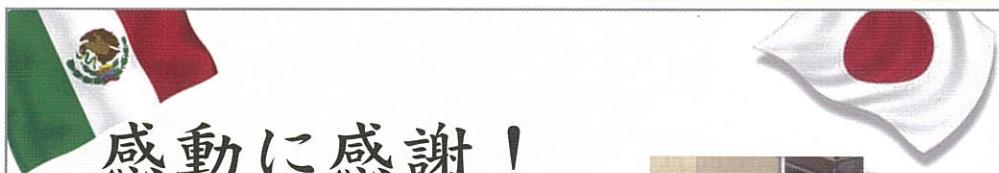
この度、友の会副会長として永年御尽力頂いております菊地宏氏が新会長に、藤林良昭氏が副会長に就任、菊

友の会が 新体制でスタート



角川

爽やかな春の風が心地よい季節に、三月二日越谷コニティーセンター小ホール、三日東村山市立中央公民館において、菊の会公演「日本のおどり」—春光に舞う—が開催されました。両会場共に大変な盛況で、第一部は「連獅子」「藤娘」の趣の異なる作品で開幕、続く狂言舞踊「釣女」では客席に笑ハの渦が・・・。



感動に感謝！

シデ から列客場れ露晴キの年たつ
テ・こついががのまさらシ会記念て、
イラのた興で入前しれ、いシ舞踊団の一環と二日間
一・シウダといい、テアトロ・
ーでも有名で格式

の歓名化でテと、また大使館主催の力で
内談士庁催さレバ一初日公演の
にしが長官れメキシコが劇場の文庫
に招かそその他大勢の文庫
和氣れ遅くままであいいました。あ
に終わりました。

ま頂ろのし伝にの
せきい皆い続 ご菊
んたる様菊芸こ活の
いなでの能れ躍会
と国日会をかをの
願に本のこら願皆
つ紹のメのもう様
て介心ンす日との
やしをばば本と益
みていーらのも々

実現可能となりました。これで、これにてご協力があつて大成功となりました。この間、小高の野いところでの大使館出仕も、外國人に合つたものと考えて出されたものであります。衣装をはじめ照明、舞台演出等どれも超一流で、それまでのシテの演技と踊りは、まさに、國境の人々のみならず、國境の人々の方々にとどめられた演目であります。

で同来いの菊強を会あさり百喜敬会まとき、ざ
感ら方なのに伺のとれ菊五ば老の方々を過ごんお陰で事樂し
謝ればい会なえ方のての十れ者の方々のはますと
のたか性のりた々昼い会人出のまこの食まの以席方
念事り格皆まこの食まの以席方
ではで、さしと色会し踊上者々
い、心んたは々でたりにももも
つ協会のの。大なは。をも今本すにがしい
ば会館温屈ま変お菊そ堪の回当。菊でいた
い一にか託た効話のの能ぼはに のきひだ



日墨協会
會長 菅原讓治

菊

特別寄稿



在メキシコ合衆国
日本国大使館特命全権大使

小野正昭

この度は「菊の会」創立三十八周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。昨年と本年の二年間、日本とメキシコの両国はその交流四百周年を祝しておられました。待方系で統舞踊の公演は久方ぶりに当地メキシコの方々を始め多くの人々が「菊の会」公演を心

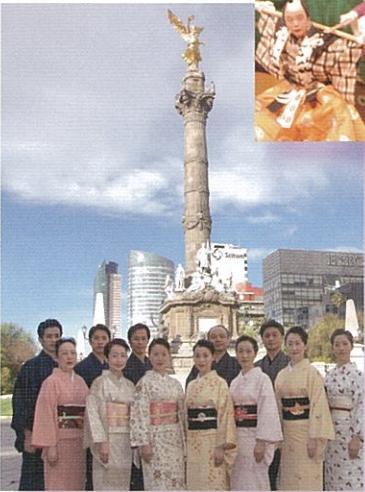
二月十九日及び二十日の両公演はともに一三〇〇名を収容するメキシコ市立エスペランサ・イリス劇場は満席となりました。普段より日本とメキシコの交流に深い関心を有する人はもとより、「菊の会」の皆様方には、この四百周年記念事業の一つとして本年二月、文化庁の助成を得て当地メキシコ・シティにおいて見事な公演を実施して頂きました。

ニラからアカブルコに向かうガレオン船が日本の御宿沖で難破し、乗組員三百七十九名が御宿の村民に救出され、以後、四百年に及ぶ善意の交流の積み重ねが日本とメキシコの関係の基礎になります。今回、「菊の会」の皆様方の常日頃の研鑽のお陰をもちまして、また一つ、両国間に善意の交流を重ねることが出来ました。この場を借りて改めまして、煙様、後援会を始めとする菊の会関係者の皆様方に感謝申します。

世界の各国と我が国との周年事業は、両国国民の相互交流を深化させます。

機会です。

アンケートには、「癒されました」「元気をもらいました」と共に、早くも次回開催に期待して下さる声を多くありました。



メキシコ独立記念塔をバックに

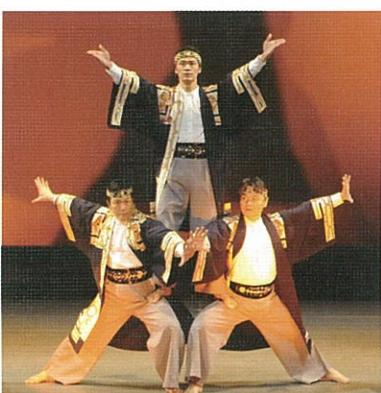


菊の会友の会
会長 菊地宏

作詞も手掛けられました。「日本の伝統文化に根ざした菊の会の素晴らしい舞台、そして見ていたい」と抱負を語りました。

爽やかな春の風に舞い春の菊の会公演賑やかに開催

「菊の会」の皆様へ



そして第二部では舞踊選集「今、船出の時」を上演。一曲ごとに盛んな拍手が送られました。アンケートには、「癒されました」「元気をもらいました」と共に、早くも次回開催に期待して下さる声を多くありました。

今後とも、「菊の会」の皆様におかれましては、舞踊文化を通じた国際交流に積極的に貢献頂き、ますますご発展されます様祈念

